健康にアイデアを
meiji

医薬品セグメント スモールミーティング

2026年9月

明治ホールディングス株式会社

Agenda

1. 本日お伝えしたいこと
2. 2026中期経営計画の進捗
3. グローバル研究開発型企業を目指した成長戦略

© Meiji Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

Agenda

1. 本日お伝えしたいこと
2. 2026中期経営計画の進捗
3. グローバル研究開発型企業を目指した成長戦略

© Meiji Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

本日お伝えしたいこと

26年度見通し

- 2025年度 営業利益 **300億円**を初めて突破
- 2026年度 営業利益 **330億円**を計画
- 薬価改定による下支え、好調な新規発売品目、血漿分画製剤のグループ内販売開始により、計画達成を目指す

成長戦略

- 26中計は構造改革を着実に遂行：
  次期中計では国内の安定基盤を足掛かりに、海外市場での成長を上乗せする**グローバル成長フェーズ**へ移行
- インオーガニック成長の推進：
  M&Aや技術提携、高収益品の導入を通じ、持続的かつ連続的なグローバル成長を実現

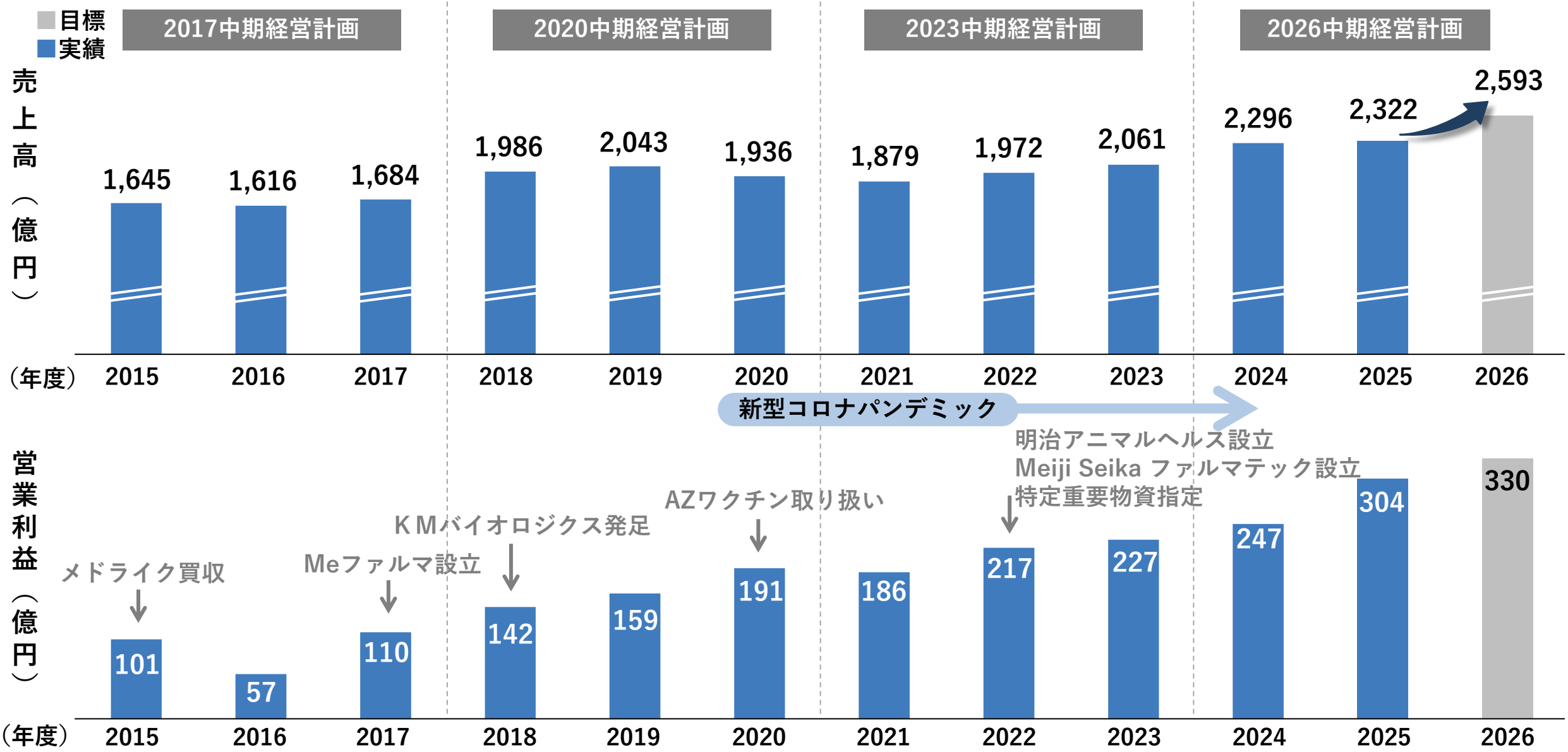
© Meiji Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

Agenda

1. 本日お伝えしたいこと
2. **2026中期経営計画の進捗**
3. グローバル研究開発型企業を目指した成長戦略

© Meiji Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

過去10年間の業績推移



※2021年度より「収益認識に関する会計基準」等を適用、2026年度の売上高・営業利益の数値は年度計画に置き換え

© Meiji Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

KPIサマリー

	24年度（実績）	25年度（実績）	26年度（計画）	26年度（策定時目標）
売上高	2,296億円	2,322億円	2,593億円	2,740億円
海外売上高比率	26.7%	27.9%	28.6%	30%以上
営業利益（率）	247億円（10.2%）	304億円（13.1%）	330億円（12.7%）	400億円（14.6%）
設備投資額	156億円	499億円	388億円	3カ年で1,100億円
研究開発費	233億円	205億円	253億円	240-300億/年
ROIC	8.2%	9.2%	8.4%	11%以上

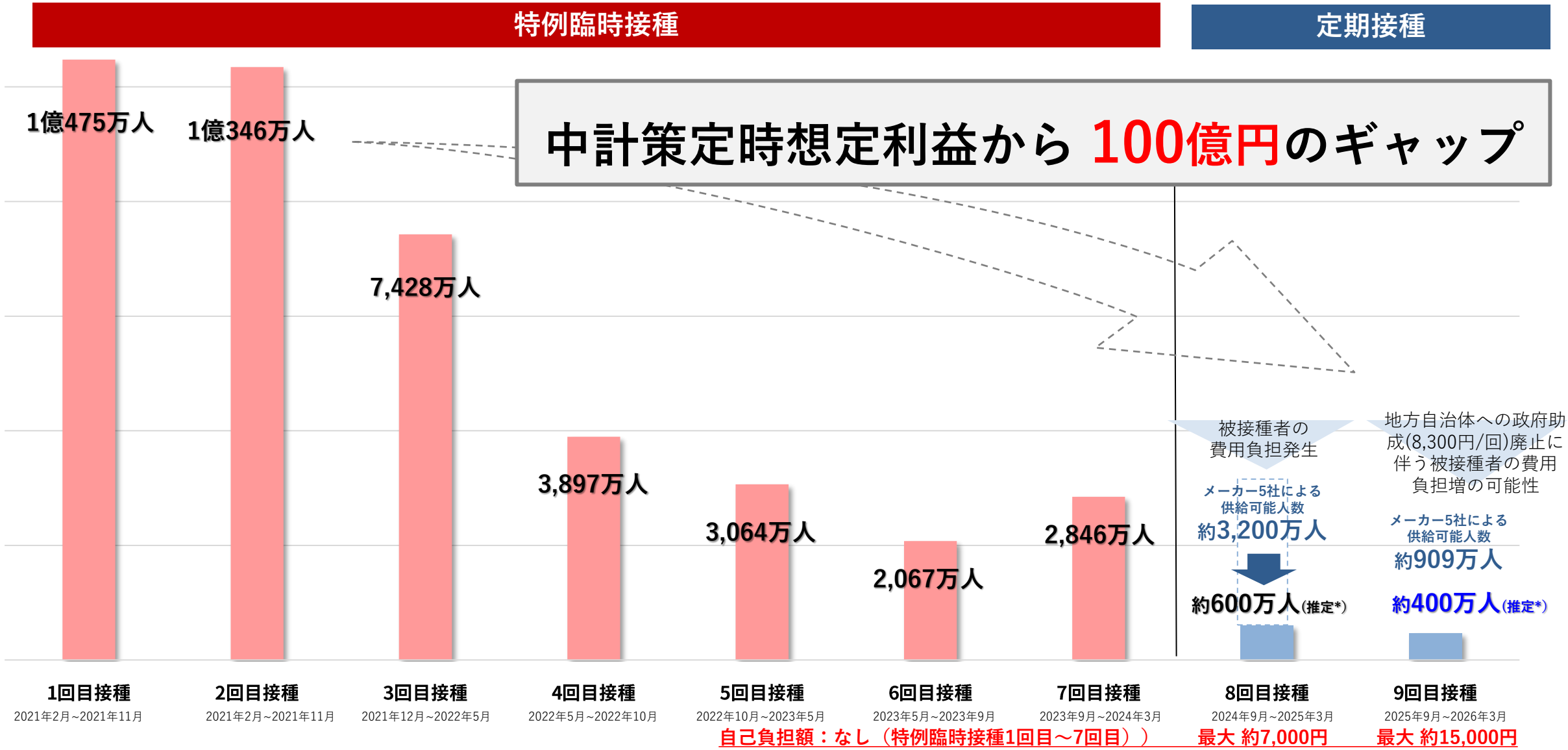
成果：国家戦略と連動した施策、グループ内一体運営による収益性の向上
戦略的かつ効率的な投資（抗菌薬、血漿分画、ワクチン）、海外成長

課題：海外売上高比率、営業利益（率）、ROICともに定量的目標は未達

© Meiji Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

新型コロナウイルスワクチンの接種状況の推移

健康にアイデアを meiji



*当社調べ

© Meiji Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

血漿分画製剤の販売移管による売り上げ拡大

- 製造から販売までを明治グループ内で一貫し、サプライチェーン全体でのサービス向上や競争力の強化に繋げることでシェアを拡大し、盤石な事業基盤を構築





New！

2026年4月～
グロブリン製剤の販売移管

2025年4月～
ボルヒール・アルブミン
製剤の販売移管

2028～
液状グロブリン
製剤販売（予定）

100億円突破

200億円突破

300億円突破

（億円）

売上高

（年度）

2020

2025（実績）

2026（計画）

2027（予測）

2028（予測）

2029（予測）

2030（予測）

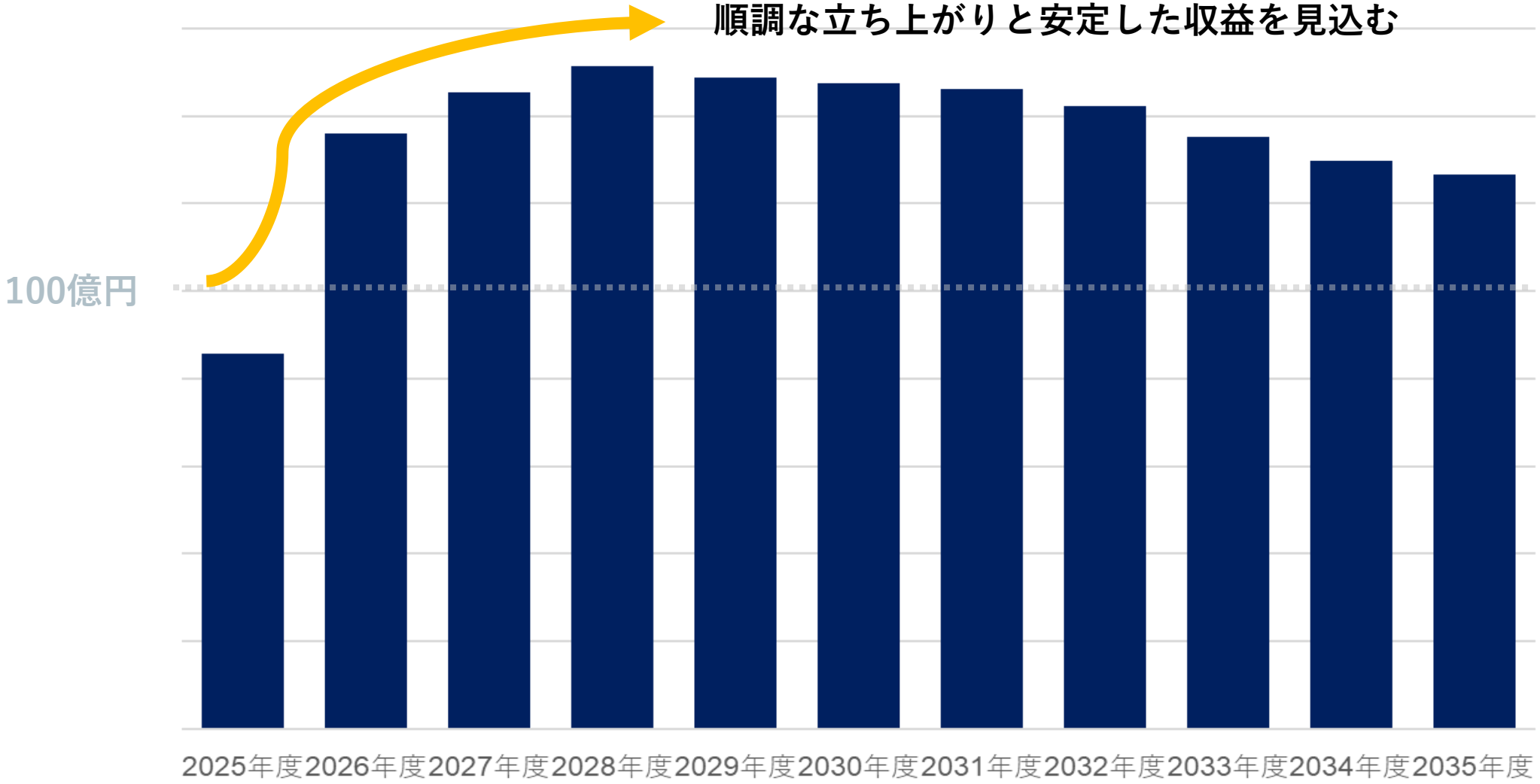
2035（予測）

© Meiji Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

レズロック：国内では初年度でピークセールスを達成、100億円規模に成長

健康にアイデアを meiji

【売上推移イメージ】

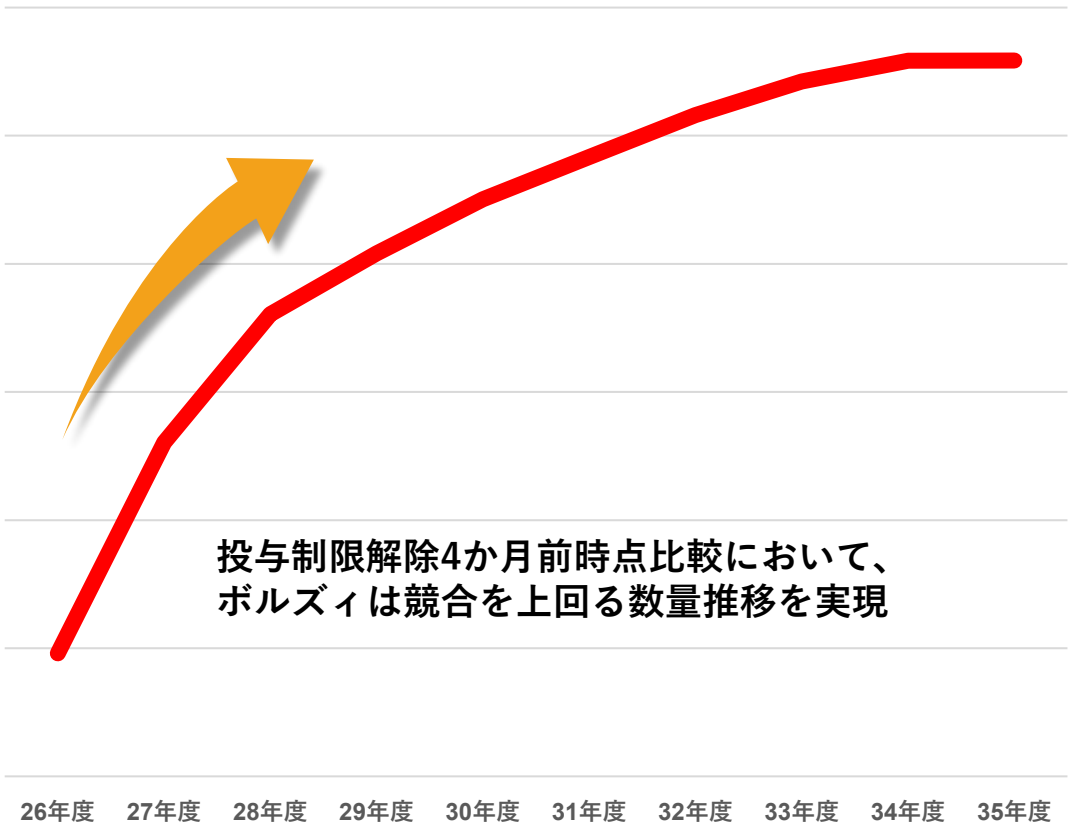


営業活動の指標となる、卸売業者から医療機関等への出荷ベースで算出

© Meiji Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

ボルズィ：2025年11月上市後、順調な立ち上がり
2026年11月の処方制限解禁後、一次選択薬ポジション獲得を目指す

【売上推移イメージ】



薬剤としての
ポテンシャルは確立

2026年のアルバート・ラスカー基礎医学研究賞は、オレキシン（覚醒維持ペプチド）の発見と、オレキシン欠乏がナルコレプシーを引き起こす仕組みの解明に対して、柳沢正史教授とエマニュエル・ミニョー教授に授与されました。

© Meiji Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

国家戦略活用の成果 — 収益基盤の強化

健康にアイデアを meiji

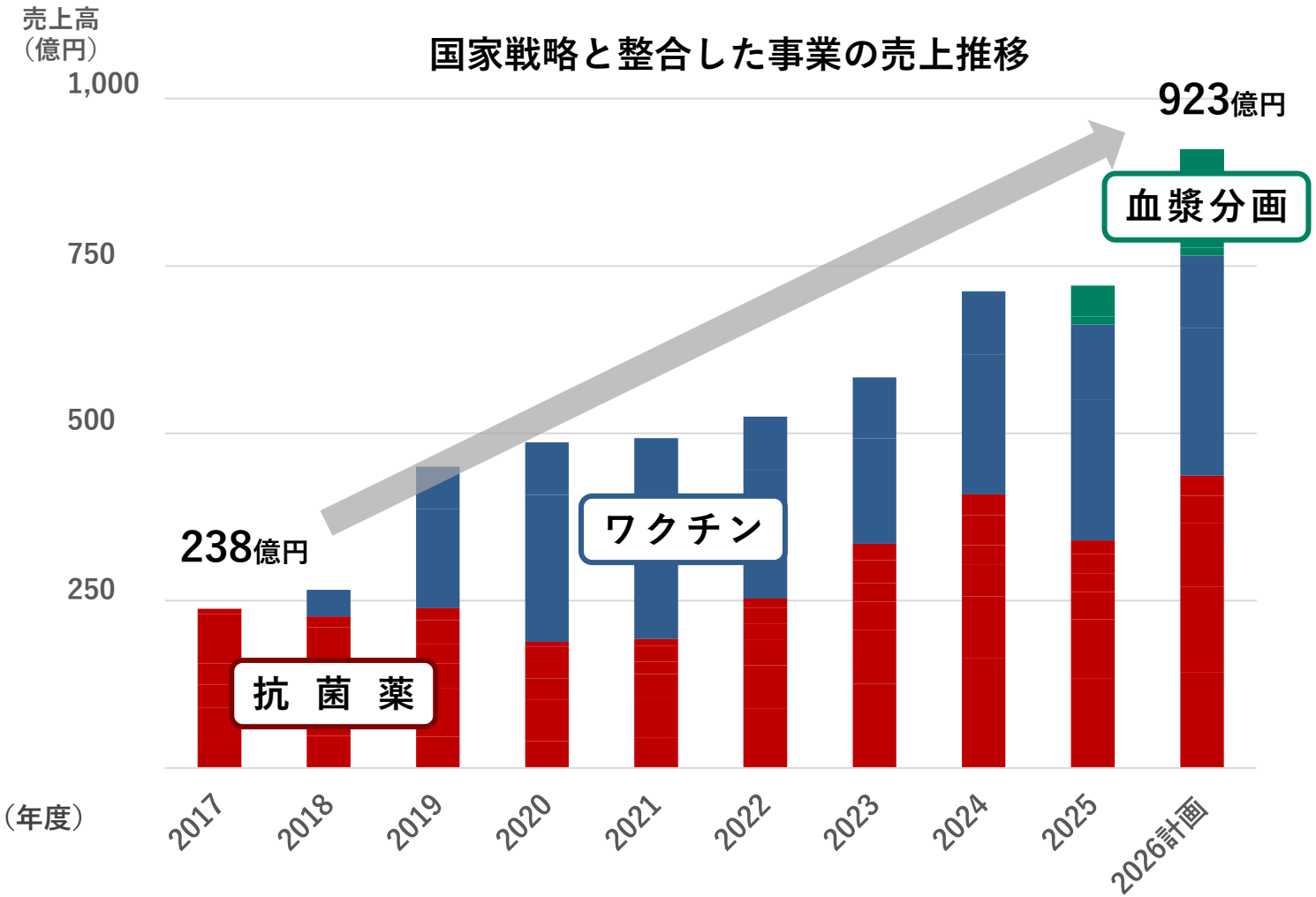
国家戦略との整合により構築した競争優位が、トップライン拡大と粗利改善を実現し、薬価改定に左右されにくい強固な事業ポートフォリオを確立

国家戦略との整合

- 原薬国内生産支援参画
- 安定供給計画認定
- 拠点整備補助活用

国からの具体的支援

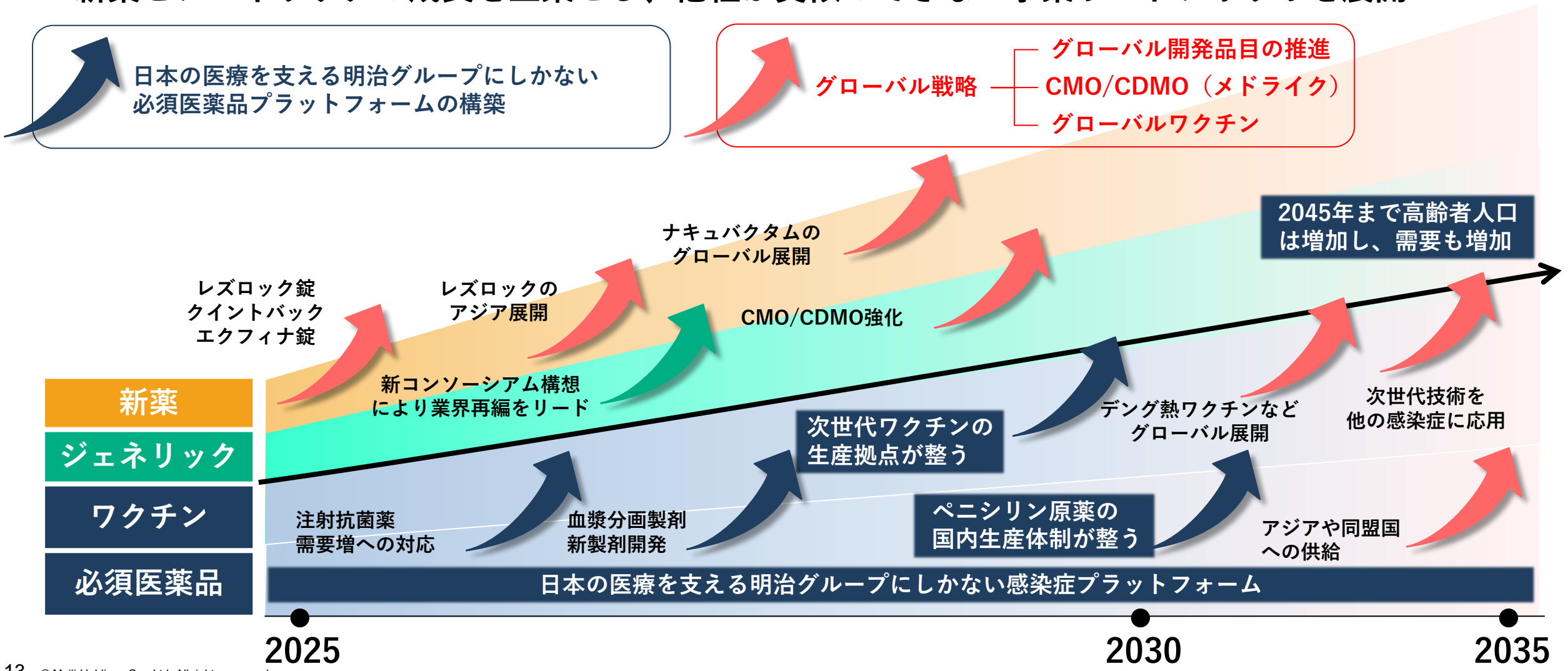
- ✓ 薬価下支え
- ✓ 製造設備支援



© Meiji Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

中長期的構想（事業拡大イメージ）

- ワクチンと必須医薬品の安定供給基盤を強化し、日本の医療を支えるプラットフォームを確立
- 新薬とジェネリックの成長を上乗せし、他社が真似のできない事業ポートフォリオを展開



© Meiji Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

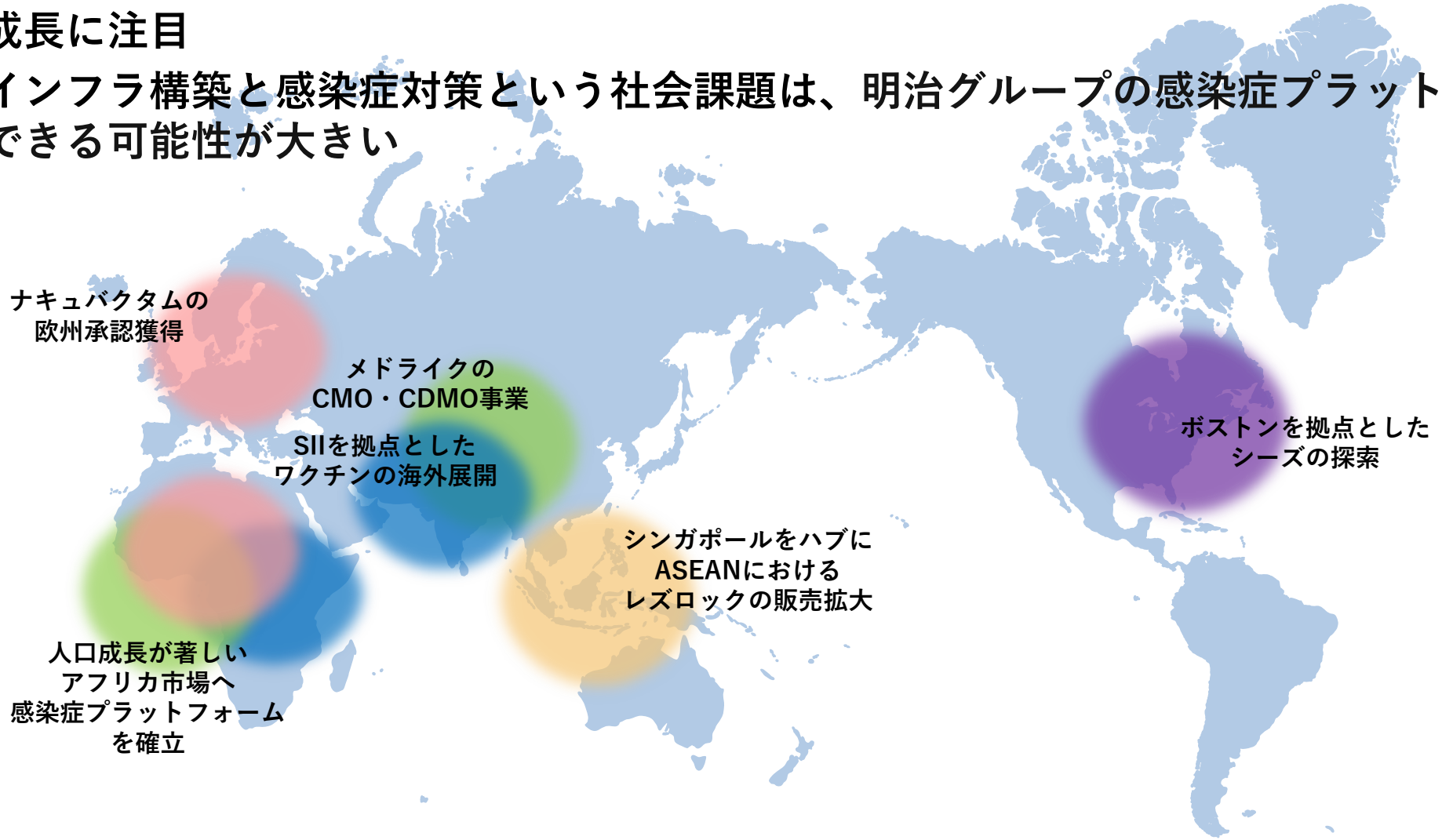
Agenda

1. 本日お伝えしたいこと
2. 2026中期経営計画の進捗
3. グローバル研究開発型企業を目指した成長戦略

© Meiji Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

感染症・ワクチン・血漿分画領域の特徴あるグローバル研究開発型企業

- アジア・グローバルにおける成長を実現するため、ASEAN、インド、アフリカの人口成長・経済成長に注目
- 医療インフラ構築と感染症対策という社会課題は、明治グループの感染症プラットフォームが貢献できる可能性が大きい



© Meiji Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

グローバル拠点の拡大

- タイやインドネシアで約半世紀にわたり医薬品の製造・販売を行ってきた実績と経験を活かし
  ASEASN全域におけるコマーシャル戦略のハブとして2025年12月 シンガポールに拠点を設立



メイジ・ファルマ・スペイン, S.A.



メドライク Limited

台湾明治医薬股份有限公司

タイ・メイジ・ファーマシューティカル Co., Ltd.

PT.メイジ・インドネシア・ファーマシューティカル・インダストリーズ

メイジ・ファルマ・USA Inc.

New！

メイジ・ファルマ・アジア Pte. Ltd.

2026年8月28日開所式





© Meiji Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

感染症のリスクは拡大していく

健康にアイデアを meiji

- 感染症は21世紀の構造的リスクであり、安定した医薬品供給が不可欠

過去	現在	未来
先進国では克服と考えられていた	新興感染症や薬剤耐性菌、変異ウイルスの出現が頻発	感染症リスクは拡大（専門機関の共通認識）

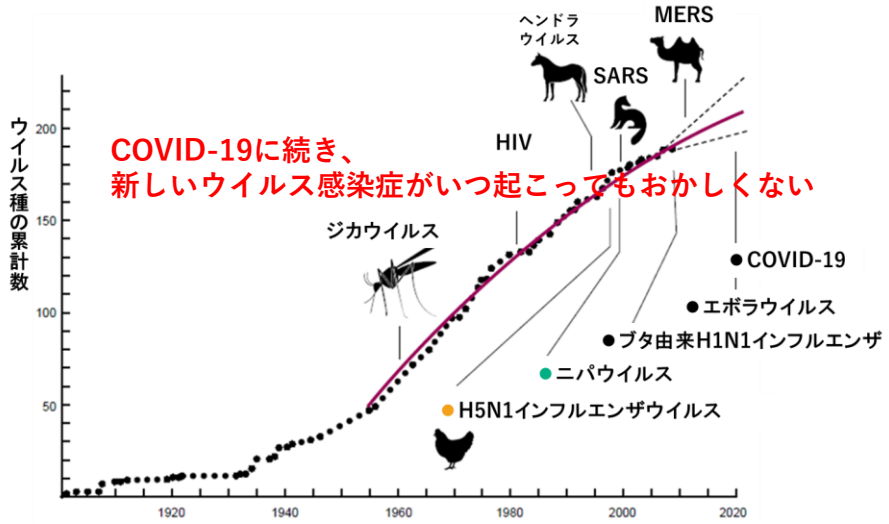
20世紀初頭に感染症が流行した背景（先進国）

① 衛生環境の未整備
② 医療技術の未発達
③ 都市化・人口密集
④ 栄養状態の悪さ
⑤ 公衆衛生制度の未整備

20世紀後半

- 抗菌薬
- ワクチン
- 衛生改善

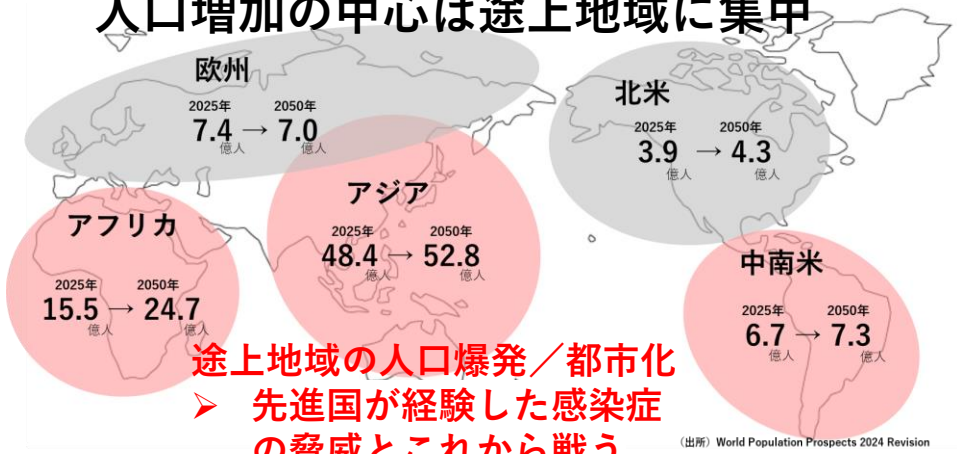
など 克服とされていた



出現頻発の背景

人口増加／都市化／グローバル移動
気候変動／動物由来感染
不適切な抗感染症薬使用

人口増加の中心は途上地域に集中



途上地域の人口爆発／都市化
➢ 先進国が経験した感染症の脅威とこれから戦う

今後の主要なリスク

新興感染症（Disease X）
薬剤耐性菌（AMR）
気候変動感染症

© Meiji Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

ワクチンのグローバル展開を見据えた新たなスキーム

- インドのSerum Institute of India Pvt. Ltd. (SII)とＫＭバイオロジクスが提供する日本脳炎ワクチンの技術を用い、インド国内における開発、製造、販売に関するライセンス契約を締結



Serum Institute of India Pvt. Ltd. (SII)

インド・プネーに本社を置く世界有数のワクチンメーカー

- 製造本数（年間供給量）ベースでは世界最大級とされ、多くの国にワクチンを供給
- **世界約170か国で使用されており「世界の子どもの約65％が少なくとも1種類のSII製ワクチンを接種している」と説明**

ライセンス提供　　**ライセンス対価**

ＫＭバイオロジクス

Meiji Seika ファルマ

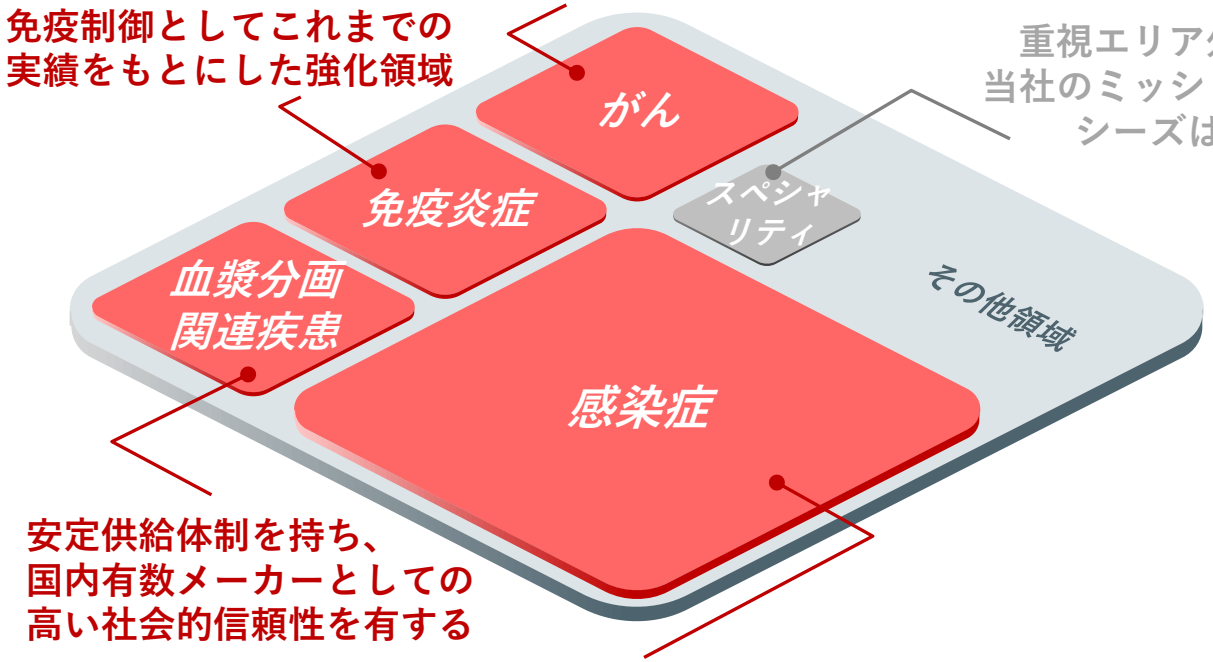
© Meiji Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

重視エリア(重点・探索領域)

健康にアイデアを meiji

- 強みを持つ・強化していく領域で新たな技術を用いて患者さんに高い効果を届ける薬を実現していくため、以下のような領域で当社とともにパートナー関係を構築いただける方を探している

Therapeutic Area



血液がんでの導入薬の販売実績を有する強化領域

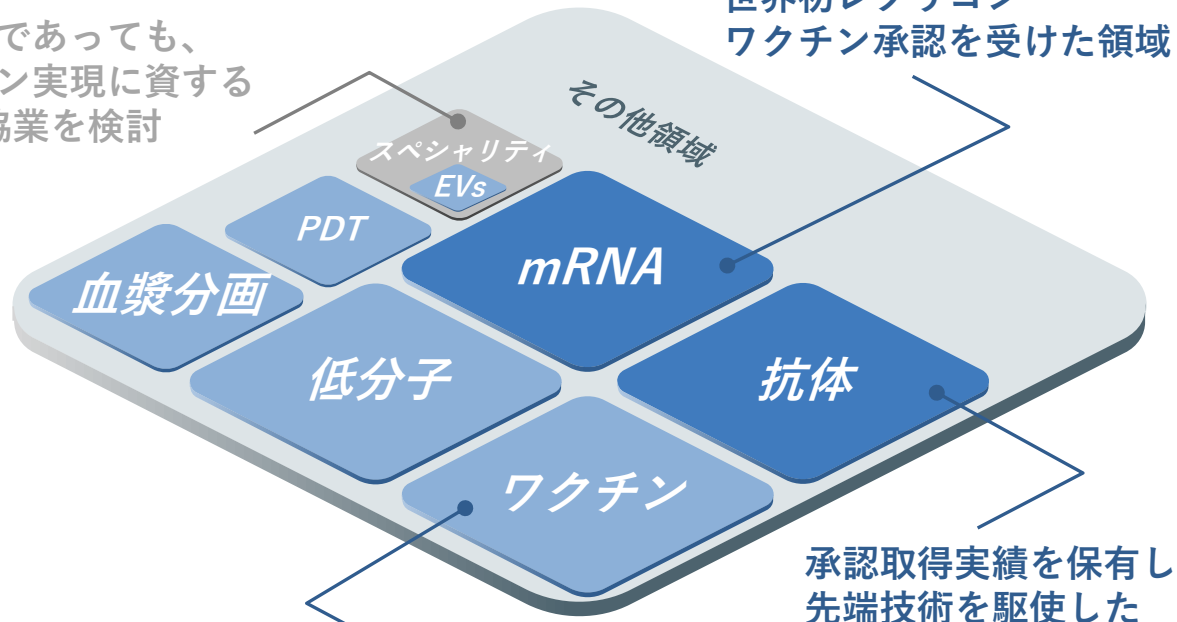
免疫制御としてこれまでの実績をもとにした強化領域

安定供給体制を持ち、国内有数メーカーとしての高い社会的信頼性を有する

インフルエンザワクチン・抗菌薬を筆頭にした創業以来の得意領域

重視エリア外であっても、当社のミッション実現に資するシーズは協業を検討

Technology



世界初レプリコンワクチン承認を受けた領域

承認取得実績を保有し、先端技術を駆使した開発力も有する

感染症におけるワクチン開発実績を生かし、非感染症領域への進出を目指す

© Meiji Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

連携の代表事例

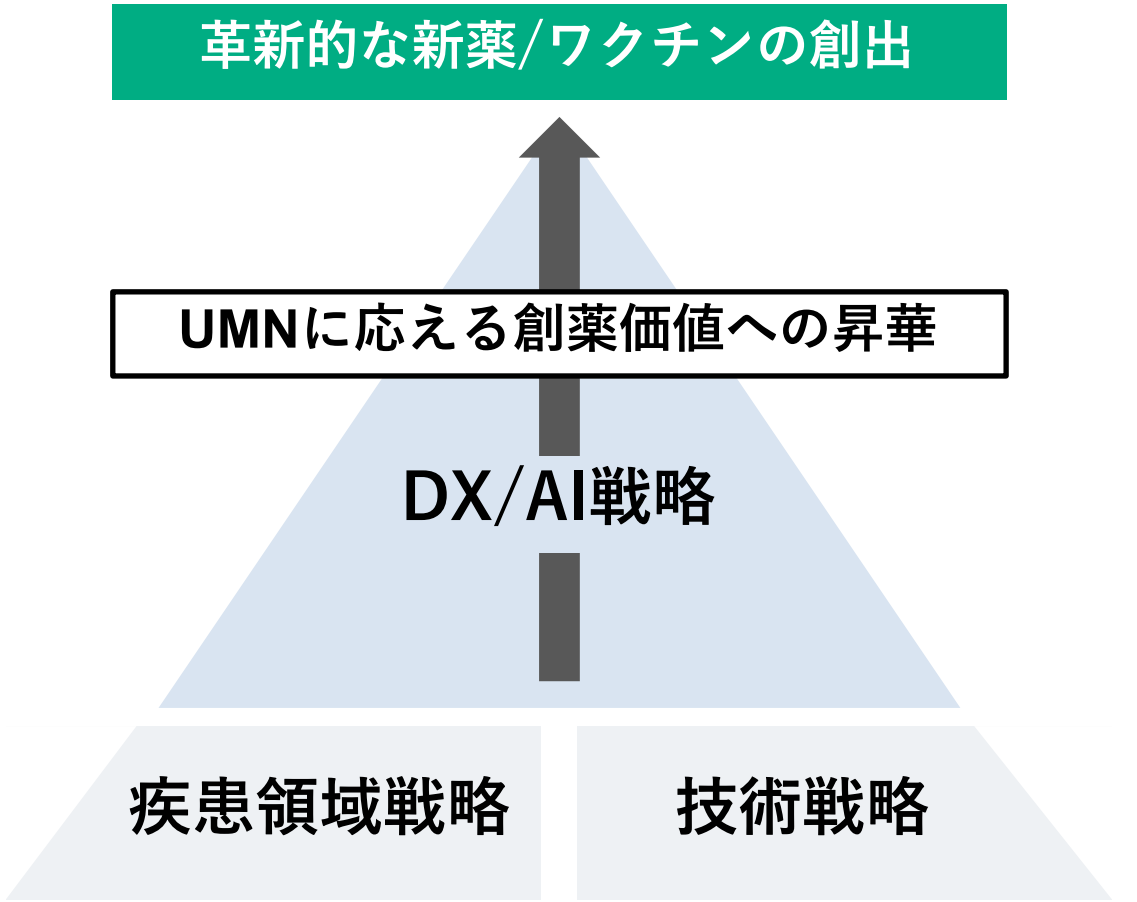
- 国内を中心に多くのアカデミアとの共同研究を進めてきた実績を基盤に、スタートアップ支援で豊富な実績を有するMBC BioLabsとのパートナーシップ契約を皮切りとして、海外におけるシーズ育成・製品化の知見獲得を進めていく

Flox Bioとの提携	• 2025年2月にアカデミアの研究を事業化する支援を行うスタートアップのFloxBioと提携 • 早期段階のアセット探索を加速させることを企図
米MBC BioLabsとのパートナーシップ契約	• 2025年12月に、米国カリフォルニア州で500社以上のバイオスタートアップに研究施設を提供し、事業化などを支援している同社とパートナーシップ契約を締結 • 連携により、シーズの育成・製品化のケイパビリティ獲得の加速を図る
神戸医療産業都市推進機構との共同研究	• 2016年より7年間にわたる共同研究の末、免疫抑制作用を誘導する「抗PD-1アゴニスト抗体」を創出 • 2026年に第1相臨床試験入り
その他スタートアップとの連携	• 株式会社BiPSEE：うつ病治療VR製品の事業化推進に関する業務提携を契約 • BlueDot Inc.：医療関係者向けに、信頼性の高い国内外の感染症情報をタイムリーに提供
その他アカデミアとの連携	• 国立がん研究センター：mRNAワクチンを応用した固形ガンに対する新規治療法開発 • 広島大学・マクニカ社：感性脳科学を活用したうつ病予防DXと社会実装に関する共同研究

© Meiji Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

AI活用による大幅なコスト削減・スピーディーな研究開発

R&D DX/AI戦略により、研究開発ポートフォリオの拡充を実現



UMN：アンメット・メディカル・ニーズ

DX/AI戦略における3つの変革

01 意思決定の変革

データ・AIに基づく判断により、
研究開発の成功確度を向上

02 プロセス構造の変革

データ・AIに基づくプロセス変革により、
研究開発の推進を加速化

03 基盤能力の変革

AI活用を前提とした人材・IT基盤の構築

© Meiji Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

AI活用による大幅なコスト削減・スピーディーな研究開発

健康にアイデアを meiji

意思決定の変革 AI創薬

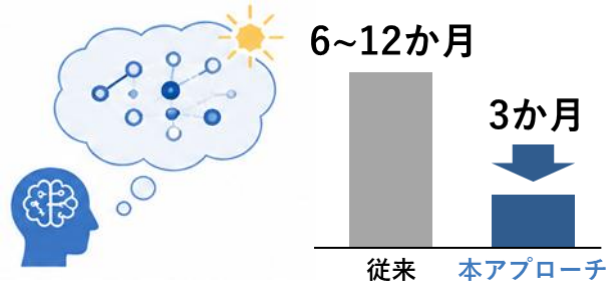
標的疾患探索

製品適応拡大

アプローチ

AIでの文献・遺伝子発現解析等による作用仮説生成

成果



非連続仮説*の創出

仮説生成時間最大75%減

プロセス構造の変革

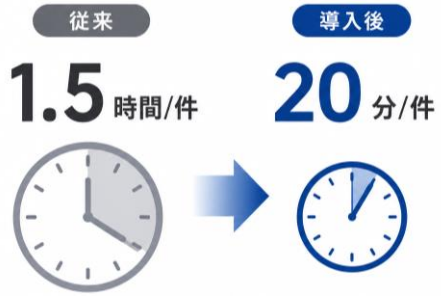
輸出該非判定

製品/技術の輸出規制該非

アプローチ

AIで該非判定に必要な情報を抽出・整理して判定業務を支援

成果



情報集計時間78%減

基盤能力の変革

人財育成

AI活用/実装と人財開発

アプローチ

学習機会の提供による知識獲得
実装を通じた専門スキルの習得

成果



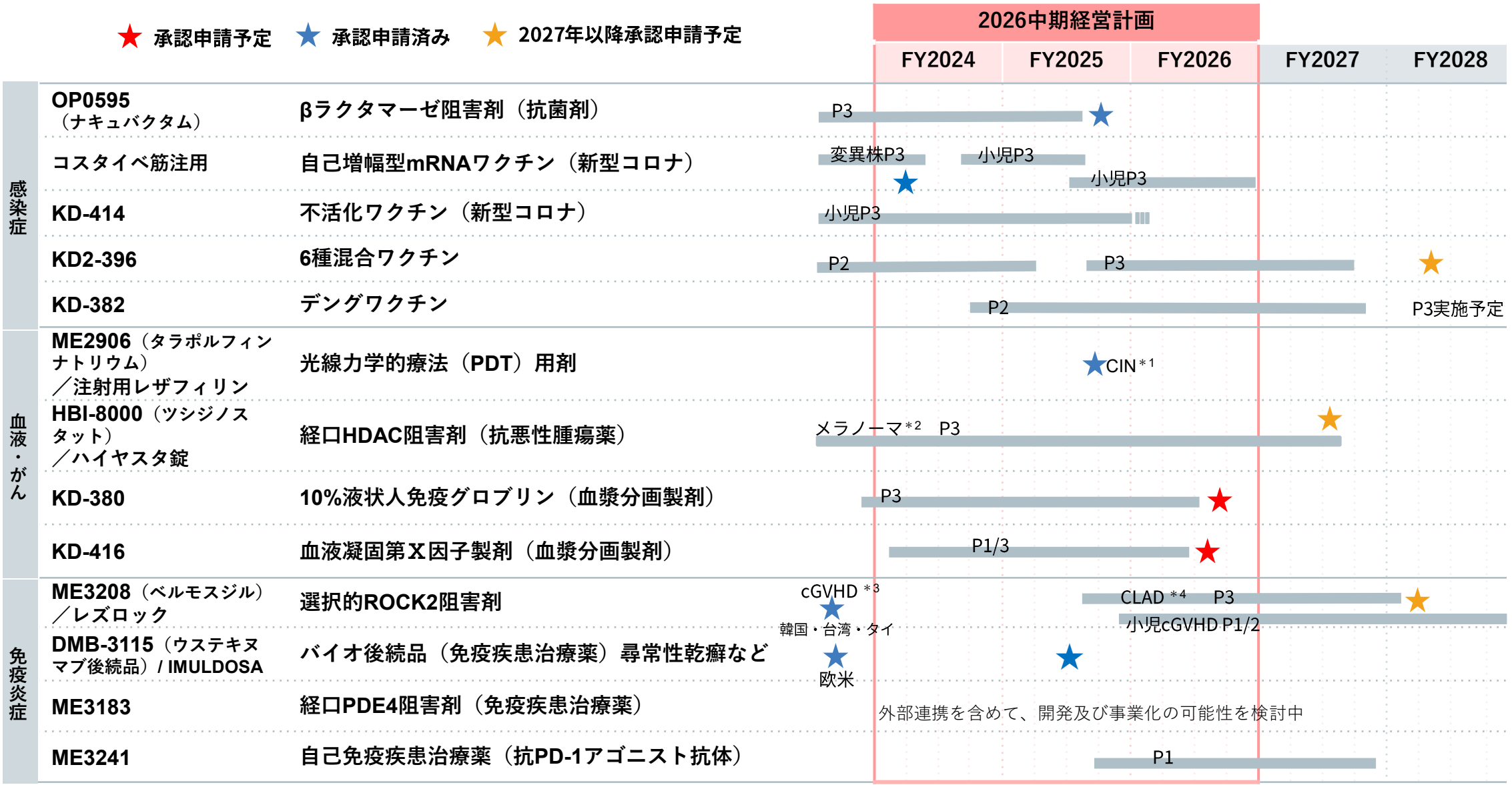
50名をドメイン知識を備えたAI・IT人材として新たに育成

*既存知見の組み合わせだけでは着想しにくい仮説

© Meiji Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

差別化された新薬パイプラインを開発（2026.9月時点）

★ 承認申請予定　★ 承認申請済み　★ 2027年以降承認申請予定



*1 CIN：子宮頸部上皮内腫瘍　*2 メラノーマ：悪性黒色腫　*3 cGVHD：慢性移植片対宿主病　*4 CLAD：慢性移植肺機能不全

© Meiji Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

ナキュバクタムの開発（第III相臨床試験概要）

- カルバペネム系薬と比較しセフェピム併用で優越性、アズトレオナム併用で非劣性を示す
- CRE感染症患者に対して、最善の治療薬と比較し、良好な有効性を示す

① OP0595-5試験　主要有効性（登録614例/解析431例）

	CFPM/NAC 群	AZT/NAC群	対照群 イミペネム/シラスタチン	群間差 CFPM/NAC 群 vs対照群	群間差 AZT/NAC vs対照群
世界	**82.2%** (176/214)	**72.3%** (81/112)	**61.0%** (64/105)	**21.3** (10.9,32.0)	**11.4** (-1.2,23.7)
日本	**75.0%** (9/12)	**66.7%** (4/6)	**20.0%** (1/5)	**55.0** (2.0,82.7)	**46.7** (-3.1,22.2)

- 対照群に対するセフェピム/Nacubactamの**優越性**が示された
- 対照群に対するアズトレオナム/Nacubactamの**非劣性**が示された
- 安全性及び忍容性について問題となるような懸念は認められず

② OP0595-6試験　主要有効性（登録216例/解析74例）

	CEPM/NAC群	AZT/NAC群	BAT群
合計	**48.1%** 13/27	**50.0%** 12/24	**26.1%** 6/23
尿路感染症	**50.0%** 9/18	**60.0%** 6/10	**33.3%** 4/12
呼吸器感染症	**57.1%** 4/7	**14.3%** 1/7	**14.3%** 1/7
腹腔内感染症	**0.0%** 0/2	**83.3%** 5/6	**25.0%** 1/4

- BAT（Best Available Therapy：医師が選択した最善の治療）に比して良好な有効性を示した

THE LANCET Infectious Diseases

米国感染症学会週間（IDWeek2025）における発表が学会ハイライトの１つとして掲載

© Meiji Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

耐性菌用抗菌薬のニーズ

薬剤耐性菌の蔓延を踏まえ、先行薬剤は市場に求められ堅調に売り上げを伸長

薬剤耐性菌は世界的社会課題であり、国内に加え
早期に海外市場へ事業展開することが重要

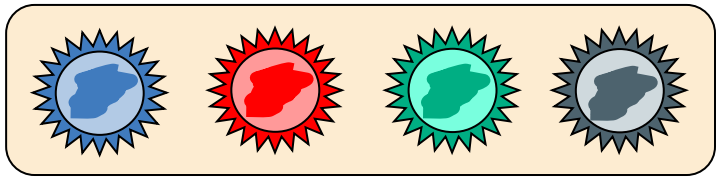
© Meiji Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

新規デングワクチンの開発

- 唯一、 4つの血清型全て弱毒株由来のフルコンポーネント（構造タンパク＋非構造タンパク）を有している
- 1回の接種で自然感染時と同様の効果を得ることが期待できる

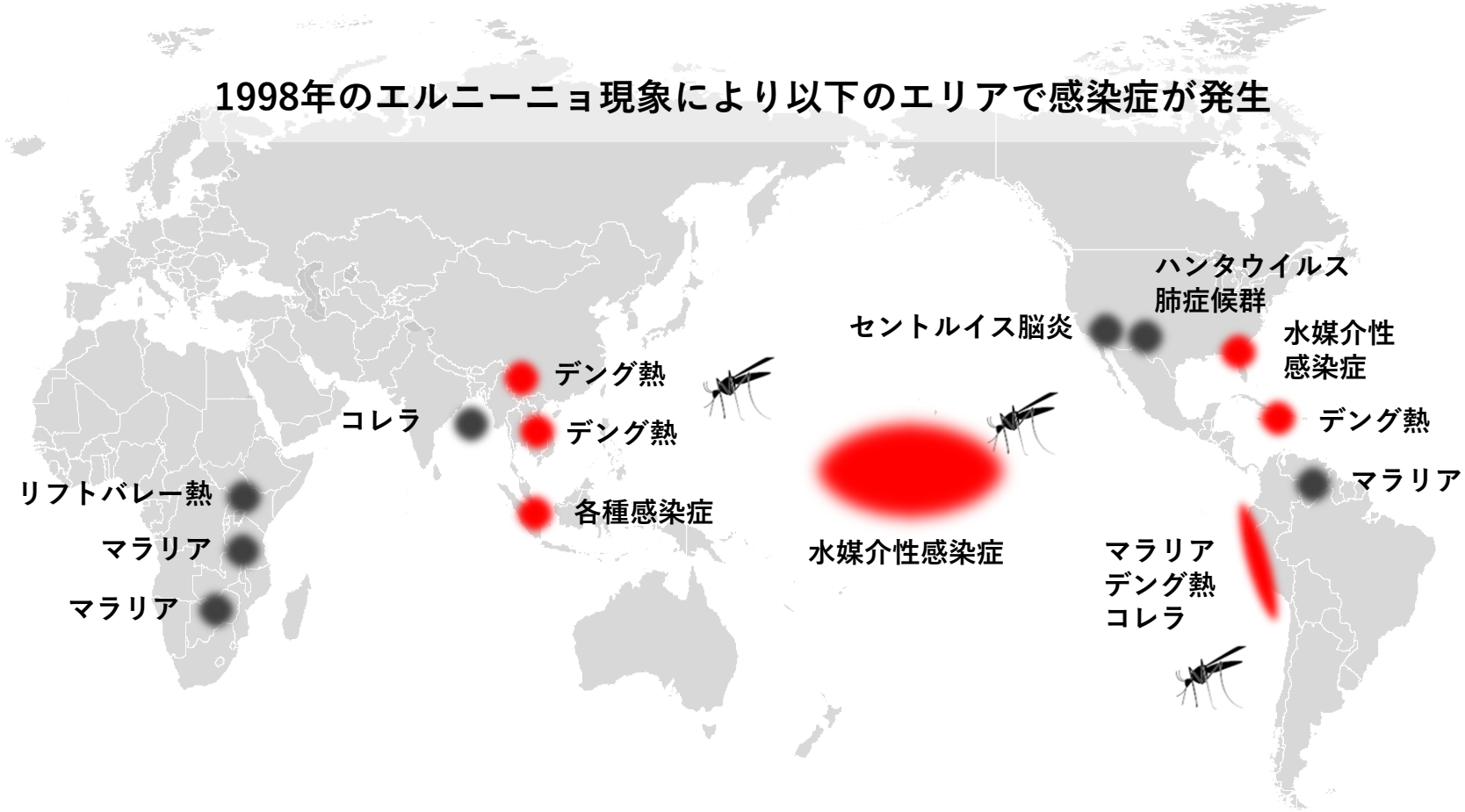
Phase2　実施中

フルコンポーネント



DENV 1　DENV 2　DENV 3　DENV 4

1998年のエルニーニョ現象により以下のエリアで感染症が発生

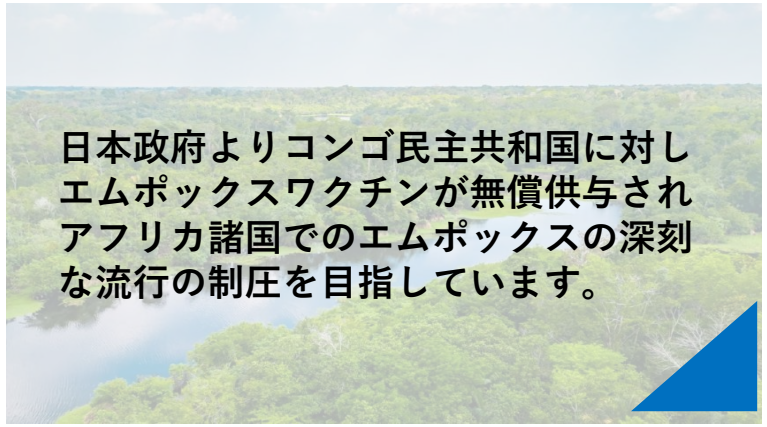


出典：環境省ホームページ　（地球温暖化と感染症：https://www.env.go.jp/earth/ondanka/pamph_infection/full.pdf）を加工して作成

© Meiji Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

痘そう・エムポックスワクチンLC16の国際的価値の最大化

- 実質的にエムポックス対策に使用可能なワクチンは世界でLC16「KMB」を含め2製剤のみ
- グローバルな公衆衛生向上・生物テロ対策に貢献すべく、WHO推奨を受けたグローバルでも通用する国産ワクチンとして展開中



・国内需要への安定供給
・WHO EL登録＋DRCへワクチン供給
➡国際的な認知度向上

・WHO-PQ取得への対応
・エムポックス有効性成績
・CMC・生産基盤充実化

WHO-PQ取得による中低所得国への事業展開
➡一般流通しないため、出口戦略と体制整備が必要
・UNICEF・GAVI等による持続的な調達の可能性調査・交渉
・海外政府への直接売込みと販売

真のグローバル事業展開＝先進国のテロ対抗備蓄品として採用・調達

・備蓄保有国への直接売込みと置換え入札機会の創出促進
➡FDAやEMA、HASなどでの承認取得（天然痘＋エムポックス）

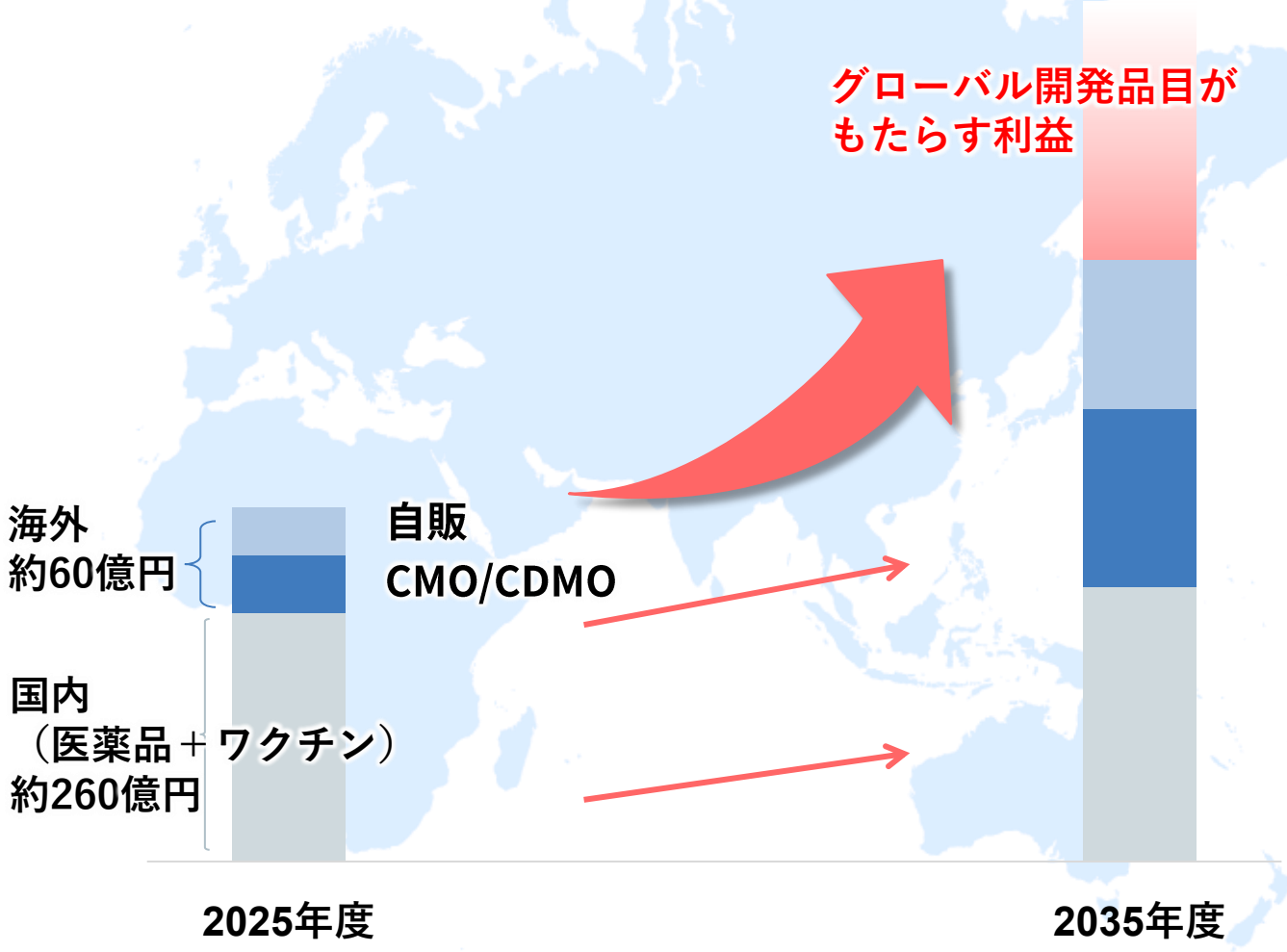
生産基盤のさらなる強化➡SCARDA助成金を活用した製法近代化
・ウイルス培養の細胞機材をウサギ初代腎臓細胞から株化細胞へ変更
・生産の安定化、緊急需要への即応性の向上。生産供給量の拡充

© Meiji Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

まとめ｜グローバル研究開発型企業への躍進

健康にアイデアを
meiji

営業利益の構成比イメージ



今後10年の成長

欧米
がん・免疫等を含む新薬技術を獲得

アフリカ・南米
ワクチン等の感染制御製品で
社会課題解決と収益基盤を確立

ASEAN
感染制御の統合ソリューション提供と、がん・免疫
炎症等の新薬の販売により、収益を着実に拡大

メドライク
CMO・CDMO事業での持続的な売上成長

グローバル成長の本格化

© Meiji Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

健康にアイデアを

meiji

- 本資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資の最終決定はご自身でご判断をお願いいたします。
- 本資料に記載された業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報、および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。
- 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれます。
- 本資料には、薬品（開発中の製品を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

© Meiji Holdings Co., Ltd. All rights reserved.